

## 第5回審議会での主な意見の概要

### 1 都市像等について

#### (1) 都市像

① 都市像は大きなくくりで言えばこういうことなのだろうと認識している。

#### (2) 豊かさ実感リーディングプロジェクト

① 豊かさ実感リーディングプロジェクトに載っている「主な取組」のほとんどは、他の地域で実施されていて、ある程度高い評価を得ているというものが多いのではないかと。他市に先駆けて鹿児島市で取り組んでいくという取組が必要。

② 5つのプロジェクトが同じ分量で書かれており、鹿児島市としてこれを強調してやりたい、率先してやりたいというのが読み取りにくい。その点は工夫をしていただきたい。

③ 「花と緑の回廊」環境創出プロジェクトは、きれいに咲いた花をまち中に持ってくるのではなく、喜入、郡山、吉田地域などの豊かな自然をより大切にしていくことが必要ではないかと思う。それを県外の人にアピールしたり、子どもたちに伝えていくことなどがこの中に表せると良いのではないかと。

④ NPO等の支援については、ビジネスとして成り立つ仕組みなど、これまでとは異なる発想により、仕掛け、仕組みづくりをしないと実現しないのではないかと。

#### (3) 基本目標（前回の補足としての発言）

① 水と緑が輝く 人と地球にやさしいまち

ア 「水」というのが川のことで、海というのがあまり感じられない。一方で、鹿児島市は合併によりかなり長い水際線を有した自治体であり、そこも特色の一つだと思う。海辺空間の活用（ウォーターフロントの活用）という考えが少し弱いと感じる。

② 健やかに暮らせる 安全で安心なまち

ア 東日本大震災を受け、あの震災レベルを考えるととてもハードだけでは対応できず、協働と連携というソフト面が重要だと認識している。震災後、まずは人命を守る、その次に生活していく上での安心安全なまちを、という概念に現状ではなっていると考える。

③ 学ばよるこびが広がる 誇りあるまち

ア 「学ばよるこびが広がる 誇りあるまち」または「健やかに暮らせる 安全で安心なまち」の中に、「子どもたちがホッとできるまち」づくりといったことも必要ではないかと。

イ 男女共同参画というのは、やはり広い範囲に関わることなので、一言「男女共同参画の視点から」と入れて済むものではないと考えている。

## 2 総合計画の体系図について

### (1) 体系図に関連した「縦割り行政」について

- ① 体系図を見ると、やはり縦割りかなと感じる。市民側から見て自治体として何をやっていくかを位置づけるべき。
- ② 縦割り行政という話があったが、縦割り行政のどこが悪いのか考える必要があるのでは。専門性、具体性、あるいは施策の実現性など、いい部分もあるのではと思う。では悪い部分はどこか、そういうところへ対応を図っていくので良いのでは。

### (2) 豊かさ実感リーディングプロジェクトの位置づけ等

- ① リーディングプロジェクトと基本目標別計画とはなぜ違う項目に分かれているのか、というのが分かりづらい面がある。